

LOGI

CORPORATE PROFILE

TR O

KATOLEC CORPORATION

NICS

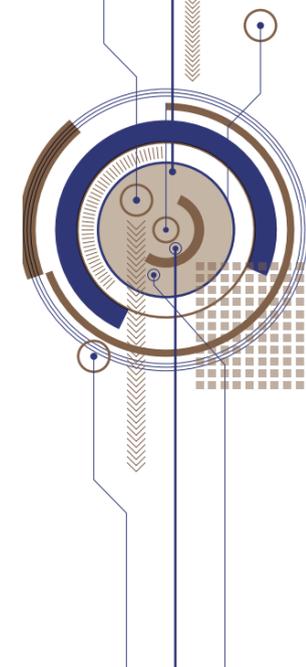
カトーレック株式会社 <http://www.katolec.com/>

本 社 / 〒135-0051 東京都江東区枝川2-8-7 TEL.03-5683-7000 FAX.03-5683-7010
高松本社 / 〒760-0065 香川県高松市朝日町5-5-1 TEL.087-822-7000 FAX.087-822-9678





明日をつくる
未来へはこぶ



SINCE 1877

よりよい明日にしたいと、今日、作り出されるモノがある。
それが広く行きわたることで、未来は真に豊かになれる。
この「つくる」と「はこぶ」の両方を担う稀な存在だからこそ
生み出すことができた独自の価値がカトーレックの強み。
そして世界へ、次のステージへ。更なる成長を展望される
お客様を支え続けるという決意を、この言葉に込めて。

— 経営理念 —

カトーレックは、常に時代の変化に対応し、
お客様のパートナーとして高い志をもち、
信頼され、愛される企業をめざし続けます。

モノを「つくる」と、モノを「はこぶ」を融合した
新たな価値で企業の「課題」を解決するロジロニクス。

お客様の「サプライチェーン」を トータルにサポート。

「ロジスティクス」と「エレクトロニクス」を組み合わせ、
お客様の事業に新しい価値を、次の展開を

「物流」と「モノづくり」を基幹事業とするカトーレックでは2つの事業を一貫して見つけ、
各事業で得た経験やノウハウを活用し合う「ロジロニクス」を推進。これによって生まれる
シナジー効果で、品質・コスト・生産スピード等でより魅力的なEMS*、あるいは管理精度や
信頼性が高く、効率的でスピーディーな物流ソリューションといった独自の価値を提供。
お客様の事業のさらなる発展をサポートし続けています。

*電子機器受託製造サービス (Electronics Manufacturing Service) の略。他企業からエレクトロニクス機器の製造を受託する。

LOGISTICS ELECTRONICS

KIPS (Katolec Innovative Production System)

NPS*思想・手法を生かしたKIPSの推進で、製造から物流までの「整
流化」に取り組んでいます。この継続的な改善活動が、「ロジロニ
クス」としてお客様に新しい価値を提供することに繋がっています。

*New Production Systemの略称でトヨタ生産方式を学ぶことで事業の改善を図る研究会

ロジスティクス事業 [輸送・保管・加工]

LOGISTICS

さらなる改善・効率化で
もっと正確・スピーディーに。

SOLUTION

EMS (電子機器製造受託サービス) 事業 [設計・調達・製造]

ELECTRONICS

日本で、世界で、魅力的な
製品を確実にお客様のもとへ。

お客様の「つくる」をワンストップサービスで。

ELECTRONICS

お客様は、サービスメニューから任意の組み合わせで選択



EMS (電子機器製造受託サービス) 事業 [設計・調達・製造]

1980年以來、35年以上積み重ねてきた

「モノづくり」の経験とノウハウで、お客様のグローバル戦略をサポートします。

EMS* (電子機器製造受託サービス) をグローバルに展開

当社の製造受託サービスは、プリント基板の実装を中心に、電子機器の設計から資材調達、完成品の製造、物流までトータルにサポートします。35年以上続く「モノづくり」のノウハウと、物流と連携した生産工程の改善によって、優れた「Q (品質) D (デリバリー) C (コスト)」を実現。生産・調達拠点をグローバルに提供することでお客様の海外進出を強力にバックアップします。

*Electronics Manufacturing Service

民生機器から車載機器まで

オフィス・家電等の民生機器、通信・住宅・エネルギー等の産業機器、自動車のフロントパネルやテールランプ、スマートキー等の車載機器など幅広い分野でアセンブリサービスを提供しています。基板実装からモジュール品、完成品の製造まで対応可能です。

[生産品目一覧 (基板実装、モジュール品、完成品)]

カトーレックが実装したプリント基板は多様な機器や製品に組み込まれています。



AV機器
デジカメ、テレビモニター、オーディオ編集機 (完成品) 等

家電製品
洗濯機、電子レンジ、ミシン、電動自転車、イオン導入機 (完成品)、肌水分計 (完成品) 等

情報・通信機器
プリンター (基板実装 / 完成品)、FAX、コピー機 等

住宅設備機器
エアコン、温水洗浄便座、ガス機器 等

産業用機器
アミューズメント機器、自動販売機、CTスキャン 等

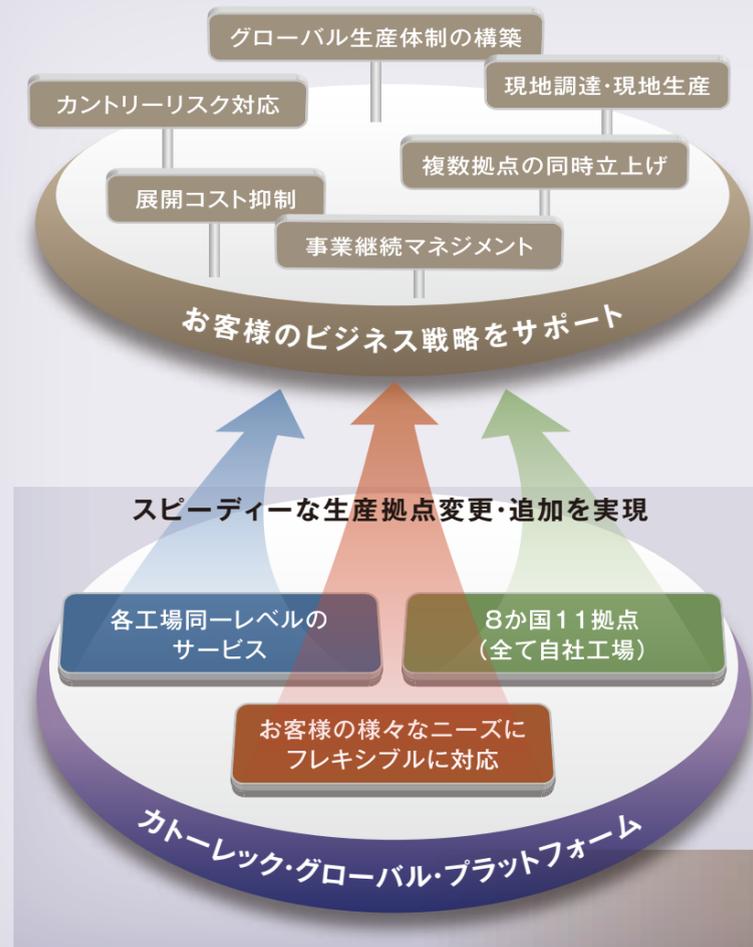


海外展開ニーズに「迅速・高品質」で応える生産拠点。



ELECTRONICS

EMS (電子機器製造受託サービス) 事業 [設計・調達・製造]



グローバルプラットフォームで、調達・生産を最適化

同一レベルの高いサービスを国内外8カ国、11ヶ所の工場を提供しています。事業環境の変化に合わせて、スムーズに生産移管ができ、カントリーリスクなどへの柔軟な対応が可能です。また、各工場での現地調達機能に加え、グローバル調達拠点(日本、香港、マレーシア)が最適な調達をバックアップ。VA/VEによるコストダウンを提案します。

熟練技術者と最新設備で生み出す高品質

電子部品(特にチップ化された小型化部品)をプリント配線板等電子基板上に実装するSMT (Surface Mount Technology) 技術で35年以上の実績をもち、創成期から経験を積んだ熟練の技術者が多数在籍しています。また、最新の設備も充実させ、大手電気メーカーなどから高い評価をいただいています。

[グローバル生産拠点と調達拠点]

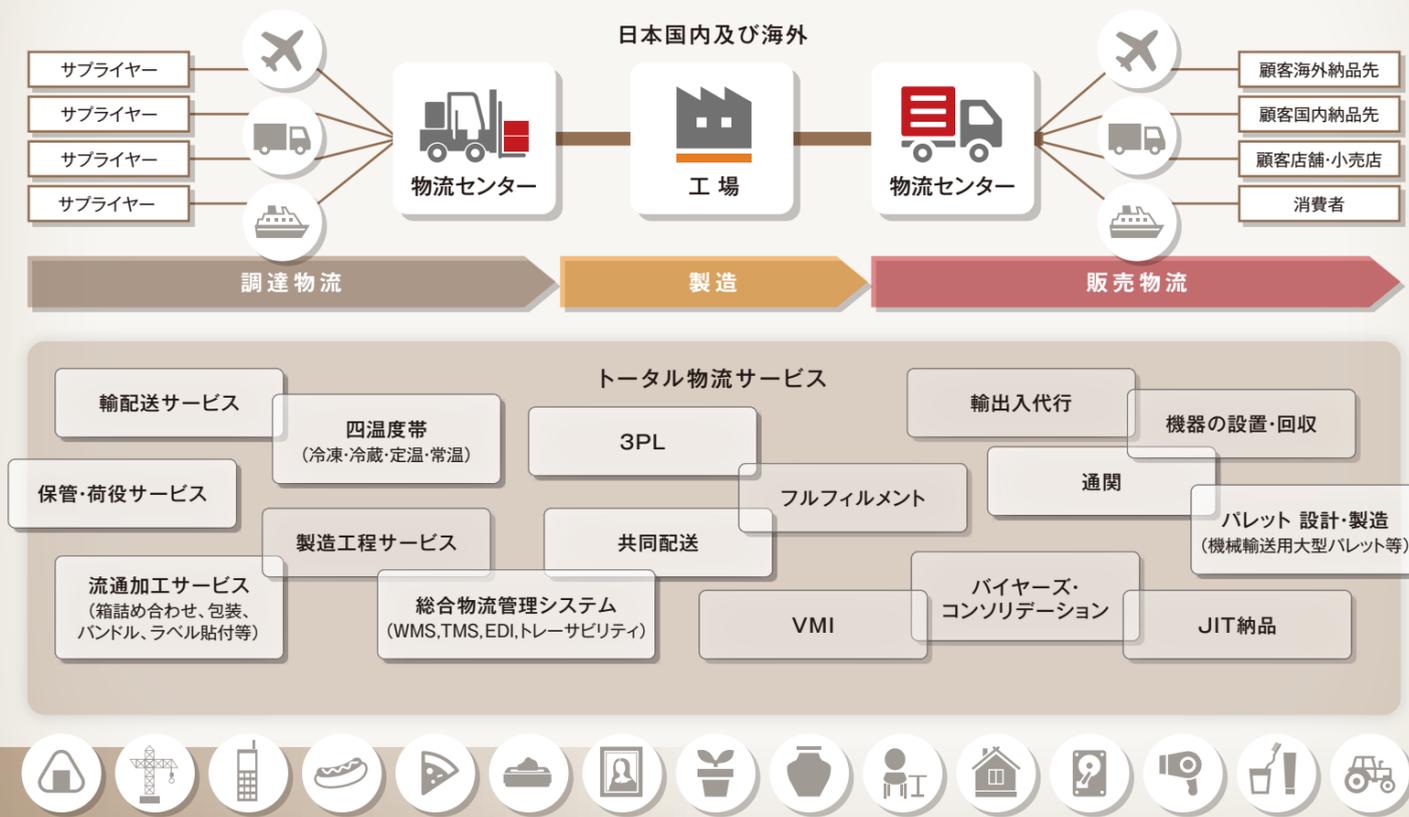


「モノづくり」のノウハウで「モノをはこぶ」をスムーズに。



ロジスティクス事業 [輸送・保管・加工] お客様の製造・販売戦略の最適化を提案します。

カトーレックのトータル物流サービスにはロジロニクスが活かされています。
保管から輸配送まで、すべてをワンストップで。



LOGISTICS

国内も海外も物流業務を最適化して
「モノのながれ」をスピードアップ

エレクトロニクス事業で培った管理精度を活かして、物流業務をトータルに改善・効率化し、最適かつスムーズな物流を実現します。全国26カ所の倉庫、40以上の物流拠点、約800台の車両を保有。四温度帯の維持や、精密機器さらには貴重な美術品の安全輸送など、豊富なノウハウを有し、お客様のニーズにお応えできる物流チェーンを構築しています。

[輸配送拠点と倉庫保有拠点]



グローバル物流を支える [海外物流拠点]

日本と海外拠点が連携して、お客様の調達から輸出入・保管・納品まで、一貫した国際物流サービスを提供します。例えば、複数のサプライヤーから調達した商品を、一つにまとめて日本や海外へ輸出するバイヤーズ・コンソリデーション。海外拠点においても、製造工程の一部を行うサービスやラベル貼等の流通加工、大型機械用のスチール製パレットを設計・製造して供給するなど、幅広い分野でサポートします。



● 本社・高松本社 ● 支店・営業所(倉庫併設) ● 営業所



経営課題と現場ニーズに確かな物流ノウハウを。



ロジスティクス事業 [輸送・保管・加工]

LOGISTICS

物流のトータルソリューションで、
お客様の経営課題を解決 [3PL事業]

お客様の物流業務をトータルに受託する3PL (3rd Party Logistics) 事業を推進。効率的で確実な輸配送はもちろん、流通加工、倉庫での保管、宅配、通関、システム開発など、物流に関わるすべての工程を引き受け、最適なビジネスサポートを提供します。

共同配送をはじめ、独自の物流ノウハウで
お客様の流通戦略をサポート

お客様の生産・販売活動をトータルに検証し、もっとも効率的な物流ルートを設定することで、モノの流れを最適化する改善策を提案しています。例えば、数社の商品をまとめて輸送する共同配送。輸送コストを削減でき、食品や化粧品などで成果を上げています。

倉庫・輸配送管理を一体化 [総合物流管理システム]

保管から、輸配送、請求までデータを一元管理し、リアルタイム管理による正確な在庫把握や、自動配車管理を実現。また、荷物の追跡情報も24時間提供可能。現場からムダを排除し、作業品質を向上しています。



美術品輸送30余年のノウハウと実績が紡ぐ安心。



安心して任せられる専門スキルと実績

[美術品輸送・保管]

30余年の実績があり、輸送から展示の設営まで一貫した美術品輸送サービスを提供しています。形状や材質などはもちろん、作られた年代や保存状態など、美術品の輸送や管理に求められる条件は様々です。美術品輸送のエキスパートである「美術品梱包輸送技能取得士*」が的確な方法を見極めて、梱包や開封、車載時の固定を行っております。

*美術品の梱包輸送技術の維持・向上のため、公益財団法人日本博物館協会が試験を実施、認定しています。

専用トラックを独自開発 [美術品専用トラック]

エアサスペンション・温湿度管理装置を備えた美術品専用トラックを保有しています。車両はグループ会社の精密自動車サービス(株)と美術輸送支店が共同開発しており、装備は日々進化しています。

貴重な美術品が安心して滞在できるホテル

[美術品専用倉庫]

東京ベイエリアのカトーレック本社ビル内に、美術品専用倉庫を保有。最適な温湿度管理が可能な個別制御空調システム、カタログ制作時に便利なフォトスタジオ、万全のセキュリティ体制など、充実した環境を整えています。当倉庫は保税地域に指定されており、関税がかからないまま美術品の状態を倉庫内で確認することができます。また、大阪にも美術品倉庫があり、輸送・設営スタッフが常駐しております。

巡回展をワンストップでサポート

[国際輸送ネットワーク]

国際的な美術品輸送組織ICEFATのネットワークにより、美術品を海外から運び入れ、保管・輸送・展示・撤収を繰り返しながら日本国内の展示会場を巡回し、再び海外へ返却します。

美術品輸送の国際組織

ICEFATに加盟しています。

1977年に結成された、世界33カ国70社が加盟する美術品輸送規格水準向上を目的とした国際的な組織です。 ※2016年6月現在



地域への感謝をカタチに。 環境への敬意を行動に。

CSR活動の一つとし、「故郷」への恩返しとも考え、創業の地である四国・高松に四国各地から古民家や旧跡を移築し、伝統のくらしと文化を現在に伝える活動を続けています。



公益財団法人四国民家博物館 四国村

数々の賞を獲得した文化財の宝庫

31棟の建物と約1万点の古民具の多くが文化財指定を受け、平成6年のメセナ大賞「地域賞」をはじめ、数々の賞を受賞しています。

世界の美術品を展示したギャラリー

ピカソ、ルノアールなどの美術品を展示した「四国村ギャラリー」も開設。幅広いジャンルの貴重な芸術にふれることができます。



文化事業／環境保全

文化と社会を見つめています。

CULTURE/CSR

「人、社会、環境」の3つの側面で、良き企業市民としての責任を果たしたいと考え、地球環境への負荷を抑える活動にも、全社一丸となって取り組んでいます。

グリーン経営のため各種認証を取得 CO₂排出量の低減へ

環境マネジメントの国際規格「ISO14001」を各拠点で取得。「グリーン経営」認証等も取得しています。



品質管理のため国際規格を取得

品質マネジメントの国際規格「ISO9001」、「ISO/TS16949」を各拠点で取得しています。

交通安全への取り組み

安全性向上と法令順守にも努めています。各拠点が社団法人全日本トラック協会の「安全性優良事業所」に認定されています。



地球に優しい、モノづくりと物流を

工場や倉庫に、太陽光発電パネルを設置。再生可能エネルギーを活用し、地球環境に配慮した拠点づくりを進めています。



あらゆる面から環境負荷の削減へ

事業活動の全工程でムダをなくす「整流化」を図ることで、省エネや省資源を推進。世界的な環境規制にも対応しています。

ようこそ、カトーレックへ。

カトーレックは、お客様の事業発展を第一に考え、お客様にとってかけがえのない事業パートナーを目指して、モノづくりと物流の2つの基幹事業で「グローバル・スピーディー・フレキシブル」な業務やサービスを創業以来ずっと追求し続けています。そして、その2つの事業を一貫して見つめ、互いの利点を活かしてシナジー効果を生み出す「ロジトロニクス」をコンセプトに、さらに価値ある独自サービスを提供できると確信しています。この冊子だけでは語りつくせないカトーレックの魅力が、まだまだあります。何より、私たちが提供できる価値はお客様によって千差万別。まさにフレキシブルな提案をさせていただきたいと考えております。会社案内はその最初の1ページです。皆様とのお付き合い、そして未来は、ここから始まります。

代表取締役社長 加藤英輔

名刺スペース

■ 会社概要

社名	カトーレック株式会社
創業	1961年(昭和36年)11月2日
設立	1967年(昭和42年)4月1日
代表者	代表取締役社長 加藤英輔
事業内容	ロジスティクス事業(運送、倉庫、宅配、物流加工) エレクトロニクス事業(電子機器の製造・加工)
資本金	7,600万円
従業員数	グループ合計 6,800名 (2016年3月31日現在) カトーレック(株) 1,875名 国内関連会社 180名 海外関連会社 4,745名
平均年齢	41.7歳
車両総数	800台
取引銀行	みずほ銀行、百十四銀行、三井住友銀行、中国銀行
関連会社	カトーレックウエスト株式会社 精密自動車サービス株式会社 株式会社コスモ技研 P.T. KATOLEC INDONESIA KATOLEC PHILIPPINES CORPORATION KATOLEC (THAILAND) Co., LTD. KATOLEC ENGINEERING (THAILAND) Co., LTD. KATOLEC (HK) Co., LTD. KATOLEC SUZHOU Co., LTD. KATOLEC AUTOMOTIVE SYSTEMS (GUANGZHOU) Co., Ltd. KATOLEC VIETNAM CORPORATION KATOLEC MALAYSIA SDN.BHD. KATOLEC DEVELOPMENT INC. KATOLEC DE BAJA CALIFORNIA, S.A. DE C.V. KATOLEC DE GUANAJUATO, S.A. DE C.V.
文化事業	公益財団法人四国民家博物館

■ 主な得意先

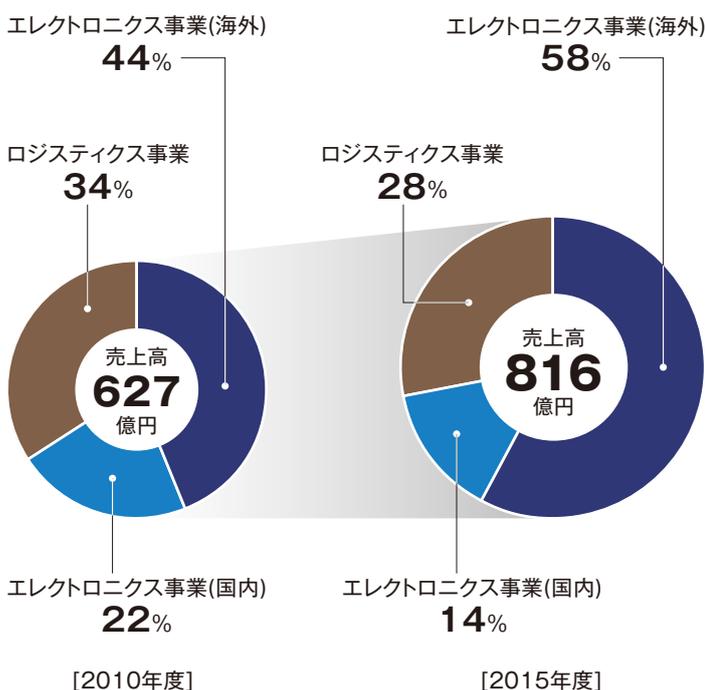
[ロジスティクス事業]

(株)朝日新聞社、アサヒロジ(株)、味の素ベーカリー(株)、アマゾンジャパン合同会社、(株)あわしま堂、エスピー食品(株)、(株)エバラ物流、大塚倉庫(株)、オカモト通商(株)、オタフクソース(株)、香川県漁業協同組合連合会、カゴメ物流サービス(株)、(株)近鉄エクスプレス、(株)クボタ、クリナップロジスティクス(株)、コイズミ物流(株)、国分西日本(株)、(株)コクヨロジテム、国立新美術館、国立西洋美術館、(株)サカタのタネ、サントリーロジスティクス(株)、敷島製パン(株)、四国コカ・コーラボトリング(株)、(財)セゾン現代美術館、第一屋製パン(株)、ダイオーロジスティクス(株)、(株)タイヨー神戸屋、タカキベーカリー(株)、テーブルマーク(株)、東京都現代美術館、東拓工業(株)、(株)永谷園、日清オイリオグループ(株)、日清フーズ(株)、日通NECロジスティクス(株)、日通・パナソニックロジスティクス(株)、日本デイリーネット(株)、日本ハム(株)、日本放送協会(NHK)、日本食研ホールディングス(株)、ハウス物流サービス(株)、パナソニックヘルスケア(株)、(株)フェリシモ、ブリヂストン物流(株)、古河物流(株)、(株)ホンダロジスティクス、(株)毎日新聞社、マルトモ(株)、(株)ミツカンロジテック、(株)三越伊勢丹ビジネスサポート、三菱化学物流(株)、ユニ・チャーム(株)、読売新聞グループ、YKK AP(株)

[エレクトロニクス事業]

愛知電機(株)、(株)オルタステクノロジー、京セラドキュメントソリューションズ(株)、(株)クボタ、黒田電気(株)、(株)小糸製作所、佐鳥電機(株)、三洋テクノソリューションズ鳥取(株)、GEヘルスケア・ジャパン(株)、島根三洋電機(株)、蛇の目マシン工業(株)、新コスモス電機(株)、西武電子機器(株)、象印マホービン(株)、大研医器(株)、徳利信電機(香港)有限公司、(株)トーア紡コーポレーション、(株)東海理化、東芝ライテック(株)、TOTO(株)、(株)トーマンエレクトロニクス、(株)豊通エレクトロニクス、長瀬産業(株)、(株)ニコン、日機装(株)、パナソニック(株)、パナソニック(株)アプライアンス社、パナソニック(株)エコソリューションズ社、パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社、パナソニックライティングデバイス(株)、(株)パロマ、フォスター電機(株)、富士フイルムテクノプロダクツ(株)、船井電機(株)、古河AS(株)、ベトナム東洋電装(株)、(株)ホンダロック、八洲電機(株)、(株)ユーシン、Canon Electronics (Malaysia) Sdn.Bhd.、Canon Prachinburi (Thailand) Ltd.、Canon Vietnam Co.,Ltd.、Denso Philippines Corporation、MITSUBISHI ELECTRIC THAI AUTO-PARTS CO., LTD.、NIKON (THAILAND) CO.,LTD.、PIONEER ELECTRONICS ASIACENTRE PTE LTD.、PIONEER MANUFACTURING (THAILAND) CO LTD.、PT. INDONESIA EPSON INDUSTRY、PT.SANKEN INDONESIA、P.T.Toshiba Consumer Products Indonesia、SANDEN INTERNATIONAL (SINGAPORE) PTE LTD.、SATO VIETNAM SOLUTIONS CO., LTD.、Sumitronics Shanghai Co.,Ltd.、Tachibana Overseas Holdings, LTD.、TOTO (SHANGHAI)CO.,LTD.、TRP, Inc.、US Applied Physics Group (New York)、YAMAHA ELECTRONICS MANUFACTURING (M) SDN.BHD.

■ 売上高推移 (グループ合計)



※日本語は五十音順、英語はアルファベット順、敬称略

■ 沿革

1877年(明治10年)		高松で加藤彌太郎が廻漕業を創業。
1928年(昭和3年)		「株式会社加藤海運商会」に改組、神戸に本社を置く。 阪神～香川県を結ぶ貨客定期航路(讃岐航路)を開設。
1957年(昭和32年)		「加藤汽船株式会社」に改称。貨物部門を「加藤海運株式会社」として分離。
1961年(昭和36年)	11月	高松～京都間の一般路線貨物自動車運送事業の免許を取得。(現カトーレックの創業)
1963年(昭和38年)		高松支店にて、大手百貨店の宅配事業を開始。
1965年(昭和40年)	4月	「福寿運輸株式会社」(愛媛県西条市)及び「四国精密自動車工業株式会社」 (現 精密自動車サービス株式会社)を設立、自動車整備事業を開始。 東京事務所を開設。
1966年(昭和41年)	11月	「加藤倉庫運輸株式会社」(香川県高松市)を設立。輸送と保管を一元化して、総合物流を実現。
1967年(昭和42年)	4月	「加藤汽船株式会社」陸運部から独立し、「加藤陸運株式会社」設立。(現カトーレックの設立)
1976年(昭和51年)		「財団法人四国民家博物館」(通称:四国村)設立。利益の社会還元を図る。
1980年(昭和55年)		エレクトロニクス事業に参入し、電子部品の組立・製造を開始。
1982年(昭和57年)		美術輸送東京支店を開設。美術品の保管・梱包・輸送・展示などの一貫したサービスシステムを確立。 宅配部門で大型コンピュータを導入、荷主企業とオンラインネットワークによる配送管理システムを確立。
	10月	松山工場稼働。
1988年(昭和63年)		「財団法人四国民家博物館」が、日本建築学会賞を受賞。重要文化財家屋17棟展示。
1992年(平成4年)	4月	「加藤陸運株式会社」から「カトーレック株式会社」に社名変更。 グループ会社の「福寿運輸株式会社」は、「カトーレックウエスト株式会社」に社名変更。
1993年(平成5年)	8月	東京本社ビル竣工。東京本社ビル内に美術品専用倉庫完成。
	9月	「カトーレックインドネシア」設立。
1994年(平成6年)		財団法人四国民家博物館の運営に対し、メセナ大賞「地域賞」を受賞。
1996年(平成8年)	6月	「カトーレックフィリピン」設立。
	7月	「カトーレックタイランド」設立。
1997年(平成9年)	4月	グループの資材調達部門として資材センター設立。
	6月	加藤英輔社長就任。
1999年(平成11年)	3月	高松工場稼働。
2002年(平成14年)	3月	「カトーレック香港」設立。国際購買部門をスタート。
	7月	EMS推進センター設立(資材センターから改称)。設計部門を強化。
	12月	中国深圳工場(沙井新橋加達利製造廠)稼働。
2003年(平成15年)	7月	本社を東京都江東区へ移転登記。
	9月	「カトーレック蘇州」設立。
2005年(平成17年)	10月	「カトーレックベトナム」設立。
2006年(平成18年)	7月	「カトーレックチェコ」設立。
	8月	「カトーレックバハカリフォルニア」設立。
2007年(平成18年)	4月	美術輸送大阪営業所開設。
2008年(平成19年)	6月	NPS研究会に入会。
2009年(平成20年)	9月	中部支店開設。
2011年(平成23年)	2月	「カトーレックエンジニアリングタイランド」設立。
	4月	「カトーレックマレーシア」設立。
2012年(平成24年)	7月	「カトーレック広州」設立。
2013年(平成25年)	8月	「カトーレック香港ロジスティクス部」設立。
2014年(平成26年)	10月	「カトーレックグアナファト」設立。
2015年(平成27年)	10月	福岡営業所開設。
2016年(平成28年)	3月	仙台営業所開設。
	10月	無人化FAエンジニアリング会社の「株式会社コスモ技研」を買収。

■カトーレックグループ

◎本社	〒135-0051	東京都江東区枝川2-8-7	TEL.03-5683-7000 FAX.03-5683-7010
◎高松本社	〒760-0065	香川県高松市朝日町5-5-1	TEL.087-822-7000 FAX.087-822-9678

■ロジスティクス国内事業所

◎東北エリア	仙台営業所	〒983-0034	宮城県仙台市宮城野区扇町1-3-25	TEL.022-706-4000
	仙台北営業所	〒989-6135	宮城県大崎市古川稲葉字鴻ノ巣68-1	TEL.0229-88-6330
◎北陸エリア	新潟営業所	〒949-6545	新潟県南魚沼市長崎813-3	TEL.0257-82-9946
	富山営業所	〒938-0021	富山県黒部市古御堂51-1	TEL.0765-52-5555
◎関東エリア	美術輸送支店	〒135-0051	東京都江東区枝川2-8-7	TEL.03-5632-5555
	首都圏支店 運送部	〒264-0021	千葉県千葉市若葉区若松町711-1	TEL.043-420-3121
	配送部			TEL.043-424-3000
	倉庫部			TEL.043-424-3011
	市川営業所	〒272-0127	千葉県市川市塩浜2-24	TEL.047-701-0070
	筑波支店	〒300-2401	茨城県つくばみらい市台801	TEL.0297-52-5033
	下館営業所	〒308-0042	茨城県筑西市みどり町2-1-1	TEL.0296-22-5220
	水海道営業所	〒303-0042	茨城県常総市坂手町5687-1	TEL.0297-27-4551
	筑波西営業所	〒304-0822	茨城県下妻市皆葉1176-7	TEL.0296-43-9485
	宇都宮支店	〒321-0905	栃木県宇都宮市平出工業団地5-2	TEL.028-661-6759
	芳賀営業所	〒321-3325	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台157	TEL.028-677-2728
	埼玉営業所	〒359-0014	埼玉県所沢市亀ヶ谷431	TEL.04-2945-8210
◎東海エリア	静岡営業所	〒427-0103	静岡県島田市中河903	TEL.0547-38-4115
	中部支店 倉庫部	〒511-0844	三重県桑名市福岡町475-2	TEL.0594-25-9000
	運送部			TEL.0594-25-9001
◎近畿エリア	大阪支店	〒566-0042	大阪府摂津市東別府1-5-34	TEL.06-6340-5555
	美術輸送大阪出張所	〒566-0042	大阪府摂津市東別府1-5-34	TEL.06-6827-0757
	西神営業所	〒651-2271	兵庫県神戸市西区高塚台7-2-1	TEL.078-996-9870
	小野営業所	〒675-1322	兵庫県小野市匠台19	TEL.0794-63-8200
◎中国エリア	岡山支店	〒701-0165	岡山県岡山市北区大内田819	TEL.086-292-5777
	岡山東営業所	〒704-8161	岡山県岡山市東区九幡1075-1	TEL.086-948-9333
	津山営業所	〒709-4331	岡山県勝田郡勝央町植月北401	TEL.0868-38-7430
	広島営業所	〒733-0832	広島県広島市西区草津港3-2-1	TEL.082-270-0950
◎四国エリア	高松支店	〒760-0065	香川県高松市朝日町5-5-1	TEL.087-851-4334
	坂出支店	〒769-0221	香川県綾歌郡宇多津町吉田4001-83	TEL.0877-46-2617
	豊浜支店	〒769-1604	香川県観音寺市豊浜町箕浦甲2525	TEL.0875-52-5457
	松山支店	〒791-0214	愛媛県東温市南野田74-9	TEL.089-955-5333
	川内営業所	〒791-0301	愛媛県東温市南方2195-1	TEL.089-955-8151
	西予営業所	〒797-0013	愛媛県西予市宇和町稻生328-1	TEL.0894-62-6661
	ウエスト東予営業所	〒799-1362	愛媛県西条市今在家928-2	TEL.0898-65-6172
	東予通関営業部	〒799-1362	愛媛県西条市今在家928-2	TEL.0898-65-4644
	高知営業所	〒783-0052	高知県南国市左右山98-1	TEL.088-862-1577
	徳島支店	〒771-0205	徳島県板野郡北島町江尻字川中須30-7	TEL.088-698-9550
	石井営業所	〒779-3223	徳島県名西郡石井町高川原字高川原838-1	TEL.088-674-4051
◎九州エリア	福岡営業所	〒838-0056	福岡県朝倉市中原33-10	TEL.0946-23-9228

東日本配車センター	〒359-0014	埼玉県所沢市亀ヶ谷431	TEL.04-2941-3097
-----------	-----------	--------------	------------------

■ロジスティクス海外事業所

◎タイ物流拠点 (KATOLEC ENGINEERING (THAILAND) Co., LTD.)

Amata Nakorn Industrial Estate, 700/811 Moo 1, Tambol Phanthong, Amphur Phanthong, Chonburi Province, 20160, THAILAND

◎香港物流拠点 (KATOLEC(HK) COMPANY LIMITED)

香港九龍紅磡暢行道1號 中旅協記貨倉第二倉5樓

5/F., China Travel Hip Kee Godown 2, 1 Cheong Hang Road, Hungghom, Kowloon, HONG KONG

■エレクトロニクス国内事業所

EMSセンター	〒760-0065	香川県高松市朝日町5-532-28	TEL.087-826-8231
高松工場	〒760-0065	香川県高松市朝日町5-532-28	TEL.087-811-0120
松山工場	〒791-0054	愛媛県松山市空港通7-15-6	TEL.089-973-9890
ウエスト徳島工場	〒771-0213	徳島県板野郡松茂町豊久139-32	TEL.088-699-3018

■エレクトロニクス海外事業所

◎インドネシア工場(P.T. KATOLEC INDONESIA)

Ejip Industrial Park Plot 8F, Cikarang Selatan Bekasi 17550, Jawa Barat, INDONESIA

◎フィリピン工場(KATOLEC PHILIPPINES CORPORATION)

103 East Main Avenue, Special Export Processing Zone, Laguna Technopark, Binan, Laguna, PHILIPPINES

◎タイ工場(KATOLEC (THAILAND) Co.,LTD)

Saha Rattana Nakorn Industrial Estate, 115/5 Moo 4, Tambol Bangprakroo, Amphur Nakornluang, Ayutthaya, THAILAND

◎香港事務所(KATOLEC(HK) COMPANY LIMITED)

香港九龍紅磡暢行道1號 中旅協記貨倉第二倉5樓

5/F.,China Travel Hip Kee Godown 2, 1 Cheong Hang Road, Hungghom, Kowloon, HONG KONG

◎蘇州工場(KATOLEC SUZHOU COMPANY LIMITED)

江蘇省蘇州工業園區揚東路58號D棟

Bldg., D, No.58, Yang Dong Road, Suzhou Industrial Park, Suzhou, CHINA

◎広州工場(KATOLEC AUTOMOTIVE SYSTEMS (GUANGZHOU) Co., Ltd.)

广州市黄埔区兴达路3号

3 Xingda Road, Huangpu, Guangzhou, Guangdong, CHINA

◎ベトナム工場(KATOLEC VIETNAM CORPORATION)

Lot 41A-B, Quang Minh Industrial Zone, Me Linh District, Hanoi, VIETNAM

◎マレーシア工場(KATOLEC MALAYSIA SDN.BHD.)

150-C, Jalan Kampung Jawa, Bayan Lepas Free Industrial Zone Phase III, Bayan Lepas, Penang, MALAYSIA

◎米国事務所(KATOLEC DEVELOPMENT INC.)

6120 Business Center Ct, Suite F200, San Diego,CA 92154, USA

◎メキシコ・ティファナ工場(KATOLEC DE BAJA CALIFORNIA, S.A. DE C.V.)

Boulevard Insurgentes #19208-5 Colonia Cerro Colorado, C.P.22223 Tijuana, Baja California, MEXICO

◎メキシコ・グアナフアト工場(KATOLEC DE GUANAJUATO, S.A. DE C.V.)

Avenida Miguel Hidalgo 100, Parque Industrial Marabis Abasolo, Abasolo, Guanajuato 36987 Mexico

■精密自動車サービス株式会社

本社工場	〒760-0065	香川県高松市朝日町4-11-62	TEL.087-851-0841
東予工場	〒799-1362	愛媛県西条市今在家1050	TEL.0898-65-4540
筑波工場	〒304-0822	茨城県下妻市皆葉1176-7	TEL.0296-43-7133

■株式会社コスモ技研

本社	〒485-0084	愛知県小牧市入鹿出新田285	TEL.0568-71-6571
----	-----------	----------------	------------------

公益財団法人四国民家博物館	〒761-0112	香川県高松市屋島中町91	TEL.087-843-3111
---------------	-----------	--------------	------------------